

# 第36回土木史研究発表会

---

1. 主 催 土木学会（担当：土木史研究委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm> ）
2. 期 日 2016（平成28）年6月25日（土）・26日（日）
3. 会 場 富山県民会館（富山市新総曲輪4番18号）301、302号室（076-432-3111）  
交通案内：JR富山駅（南口）から徒歩10分  
富山きときと空港から富山市役所前まで 直通バス25分  
<http://www.bunka-toyama.jp/kenminkaikan/access->
4. 参加費 会員・非会員：5,000円  
学生会員：2,000円  
講演集販売：4,500円  
※ 土木史研究委員会のホームページをご参照のうえ、6月15日（水）までの事前申込期間に申込を済ませてください。
5. 懇親会 1) 日 時：2016（平成28）年6月25日（土） 18:30～20:30（予定）  
2) 会 場：富山第一ホテル1階「コメドール」（富山市桜木町10-10）（076-442-4037）  
3) 参 加 費：一般：4,000円、学生：2,000円  
4) 参加方法：当日会場受付で申し受けます

昼休みには各種小委員会の会議が予定されています。詳しくは、後日、各委員会よりご案内いたします。

【同時開催】土木史研究委員会HP（<http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/conf36/エクスカーションとシンポジウムの告知.pdf>）にて詳細をご確認ください。

◇見学会（土木学会、富山県、富山県世界遺産登録推進事業実行委員会主催）

- 1) 日 時：2016（平成28）年6月24日（金）  
2) 行 程：  
(1) 立山砂防コース（富山駅8:00集合）：15名  
(2) 富山都市計画コース（富山駅12:00集合）：20名  
※ 4月28日（木）に申し込みを締め切りました。

◇シンポジウム『土木施設を世界遺産に～地域の役割を考える』（土木学会、富山県、富山県世界遺産登録推進事業実行委員会主催）

- 1) 日 時：2016（平成28）年6月25日（土） 15:40～18:00（受付開始 14:30）  
2) 会 場：富山県民会館 304号室  
3) 参 加 費：無料（シンポジウム会場受付にて、ご記名をお願いします）

## 6. プログラム

◆6月25日(土)

※会場は、変更になる場合があります

時間	第1会場(301号室)	第2会場(302号室)
9:00		開会挨拶 土木史研究委員会副委員長 知野 泰明
9:15	<b>【鉄道】 司会:小野田 滋(鉄道総合技術研究所)</b> 1 高山本線建設期の飛騨地方における山岳観光施設の整備 ★ 1 川口直秀(岐阜大学)・出村嘉史 2 近代の和歌山における電力開発と電気軌道敷設 ★ 5 岩本一将(京都大学)・山口敬太・川崎雅史 3 戦前の鉄道における駅等級制度とその運用 ★ 11 加藤優平(福山コンサルタント)・平野勝也 4 明治・大正期の日本の駅舎におけるトレイン・シェッドに関する考察 ★ 21 金井昭彦(ジェイアール東日本建築設計事務所)	<b>【北陸の土木史1】(企画) 司会:田中 尚人(熊本大学)</b> 13 近世辰巳用水の布設状況に関する土木工学的研究 89 池本敏和(金沢大学)・北浦勝・玉井信行・山本光利・安達實 14 風俗画報に見る明治29年富山大洪水 95 村田晶(金沢大学)・安達實・宮島昌克 15 昭和八年・福井陸軍特別大演習とその時代 99 児玉忠 16 神通川改修事業と東岩瀬港修築事業 大正14年の計画変更をめぐって 103 白井芳樹
10:55	<b>【戦後土木施設】(企画) 司会:岡田 昌彰(近畿大学)</b> 5 戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する基礎的研究(その2) 31 阿部貴弘(日本大学) 6 戦後ダム施設と関連制度・計画の歴史的価値に関する評価基準の検討 35 中村晋一郎(名古屋大学)・岡田一天 7 東海道新幹線における土木技術の源流 41 小野田滋(鉄道総合技術研究所) 8 戦後都市施設の歴史・文化的価値の評価基準に関する検討(その1) 51 木村優介(京都大学)・阿部貴弘・大沢昌玄・土井祥子	<b>【北陸の土木史2】(企画) 司会:真田 純子(東京工業大学)</b> 17 運河にみる富山の歴史 109 村上宏明(富山県建設技術協会)・酒井信久 18 昭和3年の富山都市計画(その1) 都市計画法適用の特異性及びその背景について 113 白井芳樹 19 昭和3年の富山都市計画(その2) 計画の特徴と評価について 117 白井芳樹 20 昭和3年の富山都市計画(その3) 計画の立案過程および関与した土木技術者について 125 白井芳樹
11:05	<b>【港湾】 司会:星野 裕司(熊本大学)</b> 9 日本近世初期の対外活動と江戸時代の港湾整備 55 島崎武雄(地域開発学研究所) 10 江戸時代の港湾と近代の築港 67 島崎武雄(地域開発学研究所) 11 松前・福山波止場の保存活用にむけた基礎的研究 ★ 79 佐々木恵一(函館工業高等専門学校)・原口征人・石川成昭・今尚之 12 函館漁港船入港防波堤修復工事の実施概要 83 石川成昭(日本データーサービス)・佐々木洋介・佐々木恵一	<b>【北陸の土木史3】(企画) 司会:白井 芳樹</b> 21 1893(明治26)年竣工のコンクリートアーチ橋 八尾眼鏡橋 131 長谷川冽(八尾生コン) 22 富山大橋架替記念事業による近代土木遺産の記憶継承の取り組みとその評価 137 山中久生(富山県)・新開大輔 23 デ・レイケが常願寺川改修工事を指導するまでの諸相 143 貴堂巖(ケイエスティック) 24 国土強靭化から見た立山砂防の世界的価値 149 吉柳岳志(富山県建設技術協会)・市井昌彦・奥田祐士・浜浦哲一
13:45	<b>シンポジウム 『土木施設を世界遺産に～地域の役割を考える』</b> ● 基調講演 「日本及び世界の土木史から見た立山砂防」 (仮題) 講演者 : 五十畑 弘 (日本大学生産工学部 教授)	
15:40	● パネルディスカッション パネラー 五十畑 弘 (日本大学生産工学部 教授) 岡田 保良 (国士館大学イラク古代文化研究所 教授) 本田 孝夫 (富山県立山カルデラ砂防博物館長) コーディネーター 小林 一郎 (熊本大学大学院自然科学研究科 教授)	
18:00		

◆6月26日(日)

※会場は、変更になる場合があります

時間	第1会場(301号室)	第2会場(302号室)
9:00	【橋梁】 司会:佐々木 葉(早稲田大学) 25 福岡市那珂川に架橋された噴泉橋の変遷 ★ 153 石橋知也(福岡大学)・柴田久 26 忘れられた橋梁技術者・福葉健三 161 福井次郎(サンコーコンサルタント) 27 太鼓橋考 173 松村博 28 近代化黎明期における橋梁デザインの展開と総合的景観像の確立 10:40 181 阿久井康平(日本学術振興会特別研究員PD)・嘉名光市・佐久間康富	【観光・土木遺産ツアーアクセス】(企画) 司会:天野 光一(日本大学) 42 まち歩き講座『土木遺産を訪ねて』の実践を通して見たインフラツーリズムの可能性 263 阿部貴弘(日本大学)・小野田滋 43 土木遺産ツーリズムに関する基礎的研究 ★ 267 原口征人(北海道開発技術センター)・岩田圭佑・今尚之・石川成昭 44 土木遺産の観光活用のとりくみ 271 山浦直人(土木・環境しなの技術支援センター)・小西純一・古本吉倫・赤井静夫 45 DMを目的としたアライアンス型による地域価値の顕在化に関する研究 275 池ノ上真一(北海道教育大学)・布村重樹・平井健文・大内さおり
	【海外の土木史】 司会:北河 大次郎(東京文化財研究所) 29 「パロック市計画」とヨーロッパおよび海外植民地における展開についての研究 193 山田耕治(日本工営・黒川紀章建築都市設計事務所)・渡辺千尋 30 19世紀後半・英領ビルマの国づくりと技術者アレクサンダー・フレーバーの功績 201 山田耕治(日本工営・黒川紀章建築都市設計事務所)・石見和久・平野邦臣・渡辺千尋 31 現代メキシコにおける都心部の公共空間整備 - 整備手法の時代的変遷 - ★ 207 西村亮彦(国土交通省国土技術政策総合研究所) 32 麻せられて バナマ運河 ～20世紀の大土木工事を絵葉書で見る～ 213 安達實(金沢工業大学)・村田晶 33 Tetonダムはなぜ壊れたか? -原因と教訓 ★	【土木史資料】 司会:五十嵐 弘(日本大学) 46 「土木コレクション2015 in 岡山」開催報告 281 横口輝久(岡山大学) 47 地方における明治前期の地図作成-長野県立歴史館所蔵の町村図を中心にして- 287 山浦直人(千代田コンサルタント) 48 国立国会図書館憲政資料室で閲覧できる土木史関係資料について その5 293 土田宏成(神田外語大学) 49 『實用水理工學』『國土計畫』日本河川論』執筆に至る内務技師水谷鑑の研究経過 ★ 297 安井雅彦(愛知県)・富永晃宏
	12:55 217 福島啓一	
	【水利施設】 司会:岡田 一天(プランニングネットワーク) 34 旧大湊水源地水道施設にみる佐野藤次郎の影響 ★ 229 小澤佑介(文化財建造物保存技術協会) 35 戦前の日本における浄水場の空間構成に関する研究 233 西川洋平(加古川市)・岡田昌彰 36 重要文化財石井閘門の補修工事報告 ★ 235 色川篤(国土交通省北上川下流河川事務所)・東出成記・知野泰明・阿部貴弘・後藤光亜・伊納浩 37 1級河川・高梁川下流域における水門遺構「藏水門」について ★	【都市・地域】 司会:出村 嘉史(岐阜大学) 50 土地区画整理事業における住民参加の拡大過程に関する一考察 ★ 305 築瀬範彦(足利工業大学)・山本芳明・堂柿栄輔 51 古都鎌倉の観光資源「段葛」の成立時期とその後の展開 ★ 313 西山孝樹(日本大学)・天野光一 52 愛知川右岸谷底低地の微高地に存在した畠地区の形態と立地に関する一考察 ★ 319 林倫子(立命館大学)・金度源・大窪健之 53 文化的景観の概念を活用した地域イメージ再構成の試み 323 永村景子(日本大学)・高尾忠志・大江栄三
	15:35 239 原孝吏(放送大学大学院)	
	【土木遺産】 司会:阿部 貴弘(日本大学) 38 近世最大の砂防施設群「別所砂留」 ★ —その実態と地域住民による保存整備活動(第一報)— 243 横口輝久(岡山大学)・戸谷宥貴・山科直生 39 三角西港の文化的景観を活かした小学生ワークショップの実践 ★ 247 田中尚人(熊本大学) 40 欧米の歴史的木造アーチ橋との比較を通して見た錦帯橋の独自性に関する一考察 ★ 251 本田泰寛(第一工業大学)・小林一郎 41 登録有形文化財・浅野川大橋に関する研究 17:25 257 安達實(金沢工業大学)・村田晶・宮島昌克	【災害からの復興による都市形成史】(企画) 司会:中村 英夫(日本大学) 54 都市と河川が連携した水害復興に関する研究 -諫早豪雨復興土地区画整理事業を中心として- 327 大沢昌玄(日本大学)・伊東孝祐・伊東孝・山浦直人 55 1955(昭和30)年新潟大火と復興計画 333 伊東孝祐(都市・土木史研究所)・大沢昌玄・伊東孝・山浦直人 56 災害発生後短期間に再び災害に襲われ復興事業を展開した都市に関する研究 -鳥取大火と芦原大火を対象として- 337 大沢昌玄(日本大学)・伊東孝祐・伊東孝・山浦直人 57 災害復興の財源に関する研究 ★ -公営競技および富くじの収益金に着目して- 343 伊東孝祐(都市・土木史研究所)・大沢昌玄・伊東孝・山浦直人
	17:25	若手優秀講演賞表彰 土木史研究委員会発表小委員会
	17:45	総括および閉会挨拶 土木史研究委員会幹事長 岡田 昌彰